

令和3年5月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和3年5月21日(金) 9時00分
役場3階 大会議室
- 2 出席委員 北村教育長 稲佐委員 松尾委員 堤委員 川崎委員
- 3 事務局職員 出雲学校教育課長 谷崎生涯学習課長 梅木主任指導主事
渡部生涯学習課長補佐 永尾生涯学習課長補佐
喜多指導主事 川畑教育総務係長 今福学校教育係長
本山新しい学校づくり係長 野中学校給食係長 下平指導主事
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案
附議第19号 6月補正予算について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 附議第19号議決
- 9 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 無し

1 開 会 8:58

出雲課長

2 前回議事録の承認 8:58

4月定例教育委員会の会議録を資料により説明

委員全員承認

3 教育長の報告 8:59

本日は、いよいよ新しい学校づくり準備委員会がスタートする。委員の皆さんもよろしく願います。

(前回以降の主な動向)

資料より数点を内容紹介。

4/26 管理職異動内示

年度途中での管理職異動があり、5月1日付けで有明西小学校の中村教頭が、松浦小学校の校長として転出、嬉野小学校主幹教諭の吉田修氏が教頭として転入。

5/6 育英学生候補者選考委員会

11名の申請者で全員認定。

5/9 オリンピック聖火リレー (大弘寺～道の駅しろいし)

5/16 中学校体育大会

白石中学校のみ水曜日へ延期。

(杵西・藤津地域教育長会 5/13 より)

資料により概要の報告。

・令和3年度 各地区中体連大会日程

令和3年度 第58回佐賀県中学校総合体育大会日程一覧表

杵島・武雄地区は7月3日、4日予定、駅伝大会は10月1日予定。

県大会もコロナ禍でも実施、7月24日～26日予定、県駅伝大会は、11月5日予定。

・令和3年度「いじめ防止強化月間(5月)」実施要項

早期発見、早期対応で対応いただいている。現状としては、いじめというより関係上のトラブル事案の報告のようになっているが、引き続き粘り強い指導をお願いします。

・令和4年度佐賀県立高等学校入学者選抜実施日程

高校の一般選抜が3月8日、9日実施。県立中学校の選抜が1月15日。

- ・佐賀県立高校の魅力発見！高校進学説明相談会
西部会場 6月27日（日）嬉野社会体育館で開催。
- ・交通事故発生（加害等）状況調べ
小7件、中4件の計11件。
- ・へき地等学校級地区分・へき地学校勤務職員取扱要綱
- ・令和3年度学校訪問計画
本年度の教職員課訪問で5月25日に有明中学校と有明東小学校を訪問。

(その他)

- ・「ひっきゃ」で白石の「おおどぼう」を育みましょう！
教育長の資料として添付。教育委員会あげて、目標を一つにして地域全体で、「おおどぼう」・人と進んで関わる、・人と助け合い、協力が出来る・困難にくじけない、という子どもたちを育てようということでやっている。そのためには色々な働きかけが必要として、機会を捉えて働きかけを校長会でもお願いした。
- ・家庭教育コラム～シリーズ① 子ども達に“レジリエンス”を
6月発行予定の広報白石の原稿。今回、生涯学習課で「家庭教育の充実」ということで、施策として、「家庭教育コラム」を年間通して広報誌に掲載。
- ・その他
教職員の人的配置の報告。（中学校技術家庭科）
稲佐委員：先日、有明中学校の体育大会に出席したが、危機管理の問題でテントの設営について、ロープで引っ張るところがビニール紐で、支柱の輪に通していない状態で直接校長に話をした。

4 附議事項の協議 9：20～

附議第19号

6月補正予算について

6月定例町議会に提案する補正予算の説明

本山係長：補正予算内容を資料により詳細説明

新しい学校づくり事業、学校再編の先進地視察研修旅費。

堤 委員：具体的に候補としては何方に行かれるのか。

本山係長：4回程度ということで、1件は広島県福山市を検討。福山市は、人口40万人を超える大きな街ではあるが、周辺部については本町と同じように少子化の問題を抱えている。福山市は、再編を進められており、平成31年に小中一貫校を設置、令和2年度に小学校を再編し、2校を開校されている。令和4年度に小学校1校、中学校2

校を再編し、作られる計画をされている。あとは、近隣の日帰りで行けるようなところを予定。

渡部課長補佐：補正予算内容を資料により詳細説明

中央公民館費、簡易移動式消毒液自動噴霧機能付きサーモグラフィ一購入。

文化活動推進・文化財保護費、須古城跡国史跡指定に向けた竹伐採。福富ゆうあい館管理費、有明海沿岸道路福富IC開通に伴う誘導警告看板設置。

稲佐委員：竹林伐採で、自身も稲佐の森竹林伐採で経験がある。処分について粉砕機でチップ化するか、焼却するかでかなり金額が変わってくると思われる。焼却すれば2、3時間で結構燃えてしまうが、チップーについては、機械が高額で孟宗竹のような大きな竹は喰っていない。中には木の枝を入れる人がおり歯がだめになる。その辺りは、学習会ではないがちゃんと指導をしないと、素人がいきなり機械にかけたら機械を壊してしまう。一番いいのは焼却だが見ていないといけない。

渡部課長補佐：昨年度は、伐採と竹の移動だけで焼却処分等を行わなかったが、今年度は南西部の道に接したところである。そのため4トントラックも横付け出来るということで、そこに搬出する。伐採に関しては、造園業者委託予定。運送と処理については、造園業者が関連の業者に運搬してもらい最終的には処分することになる。

稲佐委員：業者が全てしてくれるということで、焼却は安く上がるためいいと思う。

渡部課長補佐：ただ、運搬焼却がかなり増えることになり、その費用が当初よりかなり増えている。

稲佐委員：竹の伐採は、地域の方を時間給で雇ってされるのか。

渡部課長補佐：須古歴史観光振興会の方は、何年も前から伐採していただいていたが、昨年度から町の事業として、最終的には須古城を国史跡指定にしたいということで取り組んでおり、町の事業として行う。ただ、以前通り振興会の皆さんも竹を伐採したり、伐採した竹を下におろし、粉砕できる分はチップ化を行ってもらっている。

稲佐委員：竹は、1年ごとに生えるため、次の下払いをちゃんと行わないとまた元通りになってしまう。

渡部課長補佐：除草作業も当時は組んでいた。

稲佐委員：継続的な予算と人員確保をしておかないといけない。

渡部課長補佐：だいたい、出てくる竹を春先に折るなり切るなりして、それを

6、7年繰り返してやっと竹が生えなくなる。

稲佐委員：3年以上すればもう立ってこない。

堤 委員：このサーモグラフィーは、何台購入か。

渡部課長補佐：10台ほど購入する。持ち運びができるため、外の方でも電源さえあれば2台、3台どこでも使える。

堤 委員：普段は、どこかに設置するのか。

渡部課長補佐：普段は公民館に設置しておく。

北村教育長：竹の伐採で、これまでの竹を積んである分があると思うが、それは手つかずのままということか。

渡部課長補佐：一部、ボランティアの方々で三近堂まで降ろして、役場の粉砕機でチップ化をしている。ただ、降ろすのが全て人力ということだからかなりの労力と時間を要する。とりあえず目的は、来年度に詳細な自然地形の測量を行うため、支障のない範囲で移動と集積を行っている。

堤 委員：役場の方では、測量のための伐採ということで行われているため、ボランティアの方では、まずはその測量の方を邪魔しないようにというのが一つと、測量のための伐採では、予算面もあり景観というところの竹の伐採、除去が出来ないためそこを伐採して降ろしていくという感じで考えている。役場の事業とボランティアと連携しながらやって行かないといけないと思っている。

松尾委員：難しいとは思いますが、例えば竹炭とかできる方はいないか。

渡部課長補佐：一時期、何十年前に竹炭がブームとなり、旧町時代に公民館でも竹炭の講座を開催したことがあるが、なかなか生産ラインに乗るのかというのが大きなネックであり、もう一つは、竹をチップ化して使うという事業的などころも無いことはないが、やはり費用的なところがかかるとのことなので、この事業としては今年度搬出できる分はすべて焼却するというのでいきたいと思っている。

堤 委員：ボランティアで行った分は、粉砕して持ち運ぶようにしているので、その分については、例えば植え込みの除草目的とかそういうので活用できないか検討はしている。町の事業の分は、どんどん処分しないと次の事業が進まないと思う。

稲佐委員：我々も竹炭の窯を購入したが、日本財団にお願いして30万円であった、5、6年でブームが去ってしまい、竹酢液と竹炭が何回か売れたが、後は全く駄目であった。一番いいのは焼却です。

北村教育長：ゆうあい館のところの方が分かりづらかったと思う。もう工事が始まっているが、道路に沿った植え込みの部分を拡張して、道の駅に右

折するために中央線にポールが設置されるため、今の入り口には鹿島方面からは曲がれない。その混乱を避けるために案内板を設置した方がいいということで準備をさせていただいている。

堤 委員：ゆうあい館のところの駐車場は、北東ではなく国道より東側の県道に出入りできる道はないのか。

谷崎課長：北側ということか。

堤 委員：道の駅に行く、国道を超えて東側の道の駅に行く県道に出られる出入口は。

複数人：行けます。裏手になる。

谷崎課長：そこを将来的には、そこを沿岸道路もあるためメインとしたい。しかし、大型車が増えてくるとなると周辺との調整は必要となる。

堤 委員：今回のことで、鹿島方面から入れないとか、出るときに佐賀方面に行けないとなると結構不便な感じを受ける。

谷崎課長：おっしゃる通りで、今元の直売所の南側に農道があり、そこが6mくらいの出入り口であるため、そこを拡幅しての検討を行っている。将来的には、北の方に出ていくようにしたい考えはある。

稲佐委員：竹のことで、竹を切る際は石垣等を崩さないように気を付けて切っていただくように十分気を付けていただきたい。

渡部課長補佐：もちろん。あの辺りの遺構が切ることによってかえって危なくなるということがあり、民家の裏とか急傾斜になっているところは触らないで、垂れた木を移動するくらいとしている。

稲佐委員：そうしないと、なんでも石まで移動して伐採しては。

渡部課長補佐：それは委託の業者さんにもお願いをしている。

委員全員承認（附議第19号）

5 その他 9:40～

（1）問題行動月別報告について

喜多指導主事：資料により詳細説明。

川崎委員：不登校の理由について、心因と怠惰とこの他に何かあるのか。

梅木主任指導主事：基本的にはこの2つで分類することになっている。

北村教育長：不登校について、発生率は全国より低めではあるが、中学校は昨年度から少し増加している。学校に行かないというのが社会的にも広く認知されているようなところがある。休み始めることに対しての問題意識を御家庭の方でも持つておられないところがあって、そうではなくて、休む、休まないというのは本人の課題であるため、

本当に休むという選択肢しかないのかということ辺りを当初、しっかりケース会議等をして話してやらないといけない。この辺りが非認知力に関わって、なかなかちょっとした課題でも逃げてしまうのではないが、緊急的に学校に来ないというケースは今のところない。トラブルが起きた、嫌なことを言われた、うまくことが進まないというようなことで、その辺りについてしっかりと処し方を考えさせるという対応を小手先だけではなく必要と思うと校長会でも話をした。

稲佐委員：私もそう思う。保護者がお墨付きを得たような感覚をもって、「行きたくないなら行かなくていいよ。」と、またマスコミもそうで、教育評論家あたりは、当然「行かなくていいよ。」とおっしゃるから、その番組を見ている人は、「それなら行かせないでいよう。」というように最近のマスコミは、コロナであってもそうで感染の数字ばかりで、治った人の数字は言わない。公衆衛生は日本が世界一です。そういうところは何も報道しない。私もあちこちの国に行きますが、衛生管理は日本が一番です。医療関係も高度な技術があるし、素晴らしいところです。しかし、そういうところは報道せず、いつの間にか皆麻痺してしまっていて、マイナス傾向だけとっている向きがあると思います。ですからマスコミも少し考えて報道していただかないと困るという感じを思っている。

(全委員承諾)

(2) 令和3年度学校完全休業日の設定について

梅木主任指導主事：資料により説明

白石町業務改善計画に基づいて学校完全休業日を設定している。今年度は夏季休業中の5日間、8月10日から13日及び16日。冬季休業中の2日間、12月27日と28日。このような形で設定し、各校に通知様式を発出している。時期を見て保護者へ発出をお願いしている。学校完全休業日を設定することにより、教職員の年次休暇促進を図る取り組みの一つとして保護者への理解を図っている。

(全委員承諾)

(3) 学校訪問について

喜多指導主事：資料により詳細説明

昨年度は、コロナ禍で実施できなかった。今年度は、実施の方向で計画しているが、少人数、短時間でのコンパクトな訪問をとというこ

とで考えている。学校訪問における他校の参加は行わない。教育委員に関しては、すべて参加で行っていたが本年度は2名ずつの参加とし、来賓の参加も行わない。

出雲課長：学校訪問について、感染症対策として時間を短くして等の学校訪問となっている。委員の方については2人ずつの参加ということで、後ほど日程調整の提出をお願いする。

稲佐委員：訪問者の給食はどうなるか。

出雲課長：無し、ということになります。

喜多指導主事：事務所訪問の時に午後までかかる場合は、弁当を持参される。

松尾委員：そうなった場合は、我々も各個人で準備するということになるか。

梅木主任指導主事：調整、検討させていただく。

堤 委員：事務所訪問の場合は何時くらいとなるか。

喜多指導主事：学校規模により変わってくる。一番大きいのは白石中であり、後は午前中で収まるくらいではないかと思われる。基本は、午前中で終わるということで設定している。

(全委員承諾)

(4) 6月行事予定表

川畑係長：資料により行事内容説明。

臨時教育委員会でお伝えしたように生涯学習課の行事については、中止が決定している分も掲載している。7月予定の佐賀県市町教育委員連合会定期総会については、今のところ中止、延期の連絡はあっていない。連絡があり次第お伝えする。

(全委員承諾)

(5) その他

・ラジオ体操・みんなの体操会について（特別巡回）

永尾課長補佐：7月4日に巡回ラジオ体操を白石町で行う計画をしている。こちらについては、今のところマスク着用、密にならないような対策をしながら実施する計画としている。主催は、NHK、かんぽ生命となり白石町は共催という形となる。この件については、入場制限を設け、雨天時の会場がふれあい郷の自館ホールを予定しているため、そこに入るキャパでの参加人数を現在募集している。全て募集については、NPO法人全国ラジオ体操の委託業者となり、はがきでの申し込みとなる。コロナ禍のため白石町内の方の参加に絞っていただきたい旨は伝えているが回答をいただいている。マスク

着用での参加については、了解をいただいている。委員の皆さんも参加の申し込み及びPRもお願いしたい。

堤 委員：後援が「白石町スポーツ協会」となっているが、名称はもう変更されたのか。

永尾課長補佐：元々5月18日に総会で承認いただく予定であったが、書面議決で18日の段階で、書面議決の全てが賛成となったため、5月18日から、「白石町スポーツ協会」と名称の変更をしている。

堤 委員：では、今年度からということか。

永尾課長補佐：今年度からとなります。

(全委員承諾)

6 閉 会 10:08

出雲課長